

市議会9月定例会

行政報告

市議会九月定例会が招集され九月八日、島山市長が行
政報告をしました。その中から主なものをお伝えします。
なお、九月定例会で審議された議案などについては、
次号でお知らせします。

稲の生育状況

八月十五日現在の作柄概況が発表され、それによると作況指数一〇四とやや良となっており、四年連続の豊作の可能性が出てまいりました。

本年の稲の生育を省みますと、本田の初期生育がカラツユのせいもあって高温多照の好天に恵まれ低次位分けも多く、また有効穂数歩合の低下も少なく、有効穂数は過去最高となっています。また、病害

虫については、比較的好天に恵まれたこと、適切な防除の実施で被害は軽微にとどまっています。今後台風の影響などがなければ四年連続の豊作が確定的と見られますが、米をめぐる内外の状況を考えると豊作を心から喜べない複雑な心境です。

第25回県総合防災訓練

九月一日、第二十五回県総合防災訓練が当市において開催されました。当日は台風十二号の影響で



あいにくの悪天候でしたが、二十五種目の訓練を無事終了しました。この訓練に際しご協力をいただいた関係機関ならびに市民各位に對しまして心から感謝とお礼申し上げます。

職業訓練短期大学の誘致について

雇用促進事業団・秋田技能開発センターを職業訓練短期大学校へ転換させるため国や県へ折衝を続けてまいりました。国の当該短期大学校の設置構想では、第一次計画（昭和五十年年度～六十二年年度）として十五校開設、第二次計画（昭和六十三年度～六十六年度）で五校増設の二十校を開設することが決定され、設置候補地も内定しております。しかし、第三次計画として、さらに十校の増設の可能性もあることから、今後労働省や大蔵省へ精力的に陳情しながら早期実現のため努力してまいります。

建設工事関係

○花岡小学校水泳プールについて
五月二十三日から七月三十一日までの工期で、校舎北側の校地内に施工してまいりましたが、工事が順調にはかどり七月二十五日に竣工いたしました。今シーズンから使用を開始しています。

○釈迦内小学校改築工事について
昭和六十一年度から二カ年の継続事業として改築工事を施工してまいりましたが、現在本年度事業の特別教室及び管理棟工事を十二月十五日までの工期で進めています。

コミュニティ事業で
大館曲わっぱ太鼓を助成



▲補助金で購入された大小の太鼓

「大館曲わっぱ桶樽太鼓振興会」では、財団法人自治総合センターの宝くじ普及広報事業によるコミュニティ活動の助成を受け、大小の太鼓九点を購入しました。

また、屋内運動場の改築工事は、現在屋根工事に入っており、機械設備工事及び電気設備工事など併せて約四〇パーセントのしんちよく率となっています。

東バイパスの一部分となる市道「狐台・長根山線」道路改良事業について

本年度新たに用地取得事業として用地四億四億円の追加が決定したため、九〇パーセントの用地買収ができる予定です。また、六十三年度以後に予定されていた工事も今年度柄沢地区の一部を着工することになり、工事のしんちよく率も二五パーセント（約四百メートル）となる予定です。

市長の対話ノート



No.160

ルールは生命

秋の交通安全運動が始まりますが、今までとは違った気構えて運動を進めなければなりません。なぜなら、当市は今年に入り交通事故死者が七人と県内で最悪となっているからです。なぜだろう。答えは簡単明瞭「ルールを守らない」からです。人間らしい社会生活を営むのに必要な最少限度の約束ごとを守られなければ必ずトラブルが起ります。交通事故死事故多発はそのいい例であります。なぜ大館だけが多いのでしょうか。「不況続きで心配事が多く、集中力を失っている」事もあるでしょう。「自分とはかく、相手が注意してくれるだろう」という他人まかせもあるでしょう。

ルールを守るということは交通事故だけの問題ではありません。平和で豊かな社会は一人では作れませんし、他人任せでもできません。みんなで作ったみんなの幸せのための最少限度の約束ごとを守ってこそ築かれるものであります。

ルールは人間として、社会生活秩序上必要最少約束ですから、それを守らないとすれば人間失格であります。生命尊厳、人間優先、人格尊重とどんな立派な言葉を並べるよりも、まず日々生活の中に行動で示すことこそ、最も大切な事であります。

島市建設部